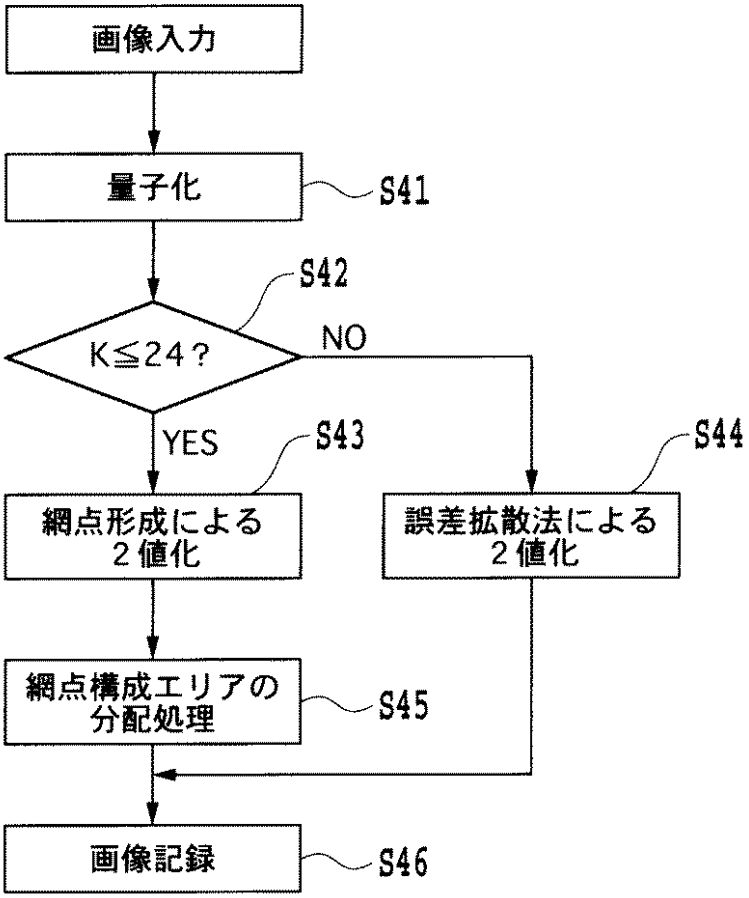
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】平成18年2月2日(2006.2.2)

【公開番号】特開2005-145017(P2005-145017A)
【公開日】平成17年6月9日(2005.6.9)
【年通号数】公開・登録公報2005-022
【出願番号】特願2003-389910(P2003-389910)
【国際特許分類】
Ｂ４１Ｊ　2/01　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ４１Ｊ　3/04　１０１Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成17年12月9日(2005.12.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
複数の記録素子が配列された記録ヘッドを記録媒体に対し相対的に移動しながら、前記複数の記録素子よりインクを吐出させることにより前記記録媒体に画像を形成するインクジェット記録方法において、
所定の階調を表現するために、記録するドットの配列を網点方式で決定する工程と、
前記決定された配列の全ドットを、網点の輪郭を構成するドットを１つ以上含む輪郭ドット群と、網点の内部を構成するドットを１つ以上含む内部ドット群とに分類する分類工程と、
前記輪郭ドット群と前記内部ドット群とを互いに異なるタイミングで記録する記録工程と
を有することを特徴とするインクジェット記録方法。
【請求項２】
前記記録工程では、前記内部ドット群は前記輪郭ドット群よりも先行して記録されることを特徴とする請求項１に記載のインクジェット記録方法。
【請求項３】
前記記録工程では、前記輪郭ドット群を記録する記録素子とは異なる記録素子を用いて前記内部ドット群を記録することを特徴とする請求項１または２に記載のインクジェット記録方法。
【請求項４】
前記記録工程では、前記輪郭ドット群を記録するための前記相対移動とは異なる相対移動で、前記内部ドット群を記録することを特徴とする請求項１乃至３のいずれかに記載のインクジェット記録方法。
【請求項５】
前記記録ヘッドを記録媒体に対し相対的に移動しながら、前記複数の記録素子よりインクを吐出させる記録走査と、該記録走査と交差する方向に前記記録媒体を前記記録ヘッドに対し相対的に移動する副走査とを繰り返すことにより、前記記録媒体に画像を形成することを特徴とする請求項１乃至４のいずれかに記載のインクジェット記録方法。
【請求項６】
前記記録ヘッドは、記録媒体の記録幅以上にわたって配列した記録素子群を有する記録

ヘッドであり、前記記録ヘッドによって所定の周波数でインクの吐出を行いつつ、前記記録素子群の配列方向と交差する方向に前記記録媒体を前記記録ヘッドに対し相対的に所定の速度で移動することにより前記記録媒体に画像を形成することを特徴とする請求項１乃至４のいずれかに記載のインクジェット記録方法。
【請求項７】
前記記録工程では、前記内部ドット群は前記輪郭ドット群よりも大きなドットとして記録されることを特徴とする請求項１乃至６のいずれかに記載のインクジェット記録方法。
【請求項８】
複数の記録素子が配列された記録ヘッドを記録媒体に対し相対的に移動しながら、前記複数の記録素子よりインクを吐出させることにより前記記録媒体に画像を形成するインクジェット記録システムにおいて、
所定の階調を表現するために、記録するドットの配列を網点方式で決定する手段と、
前記決定された配列の全ドットを、網点の輪郭を構成するドットを１つ以上含む輪郭ドット群と、網点の内部を構成するドットを１つ以上含む内部ドット群とに分類する分類手段と、
前記内部ドット群を前記輪郭ドット群よりも先行して記録させる記録手段と
を具備することを特徴とするインクジェット記録システム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１６】
そのために本発明では、複数の記録素子が配列された記録ヘッドを記録媒体に対し相対的に移動しながら、前記複数の記録素子よりインクを吐出させることにより前記記録媒体に画像を形成するインクジェット記録方法において、所定の階調を表現するために、記録するドットの配列を網点方式で決定する工程と、前記決定された配列の全ドットを、網点の輪郭を構成するドットを１つ以上含む輪郭ドット群と、網点の内部を構成するドットを１つ以上含む内部ドット群とに分類する分類工程と、前記輪郭ドット群と前記内部ドット群とを互いに異なるタイミングで記録する記録工程とを有することを特徴とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１７】
また、複数の記録素子が配列された記録ヘッドを記録媒体に対し相対的に移動しながら、前記複数の記録素子よりインクを吐出させることにより前記記録媒体に画像を形成するインクジェット記録システムにおいて、所定の階調を表現するために、記録するドットの配列を網点方式で決定する手段と、前記決定された配列の全ドットを、網点の輪郭を構成するドットを１つ以上含む輪郭ドット群と、網点の内部を構成するドットを１つ以上含む内部ドット群とに分類する分類手段と、前記内部ドット群を前記輪郭ドット群よりも先行して記録させる記録手段と
を具備することを特徴とする。
【手続補正４】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】図４
【補正方法】変更
【補正の内容】

【図４】


画像入力
量子化
S41
S42
K≦24？
NO
YES
S43
S44
網点形成による
２値化
誤差拡散法による
２値化
網点構成エリアの
分配処理
S45
画像記録
S46